

粕谷和夫の観察日記。佐渡島のトキの観察に地元ガイドさんに案内してもらいました。トキが暮らしている場所は①餌場の田んぼ。②昼間の休憩場となる集落近くの枯れた樹木の枝。③夜のねぐらとなる森です。佐渡には国中平野の大きな田んぼが広がっています。薄桃色の朱鷺色は飛び立った時に翅裏に認められました。収穫後の田んぼで餌をとっていました。

紅葉台



新聞

第157号
2024年
11月23日
発行人：関谷 孝

読書案内「中学生から知りたいパレスチナのこと」



戦争はなぜ終わらないのでしょうか。そして平和な世の中とはどのような社会のことなのでしょうか。本章は、そうしたことに中東で起こっているパレスチナでの紛争に光を当て、その歴史的経緯を、それぞれの専門分野をもとにして、さらに広い視野に立って(人文学的見地より)語られています。お三方はいずれも「自由と平和のため

の京大有志の会」に参加されていて、これまでも多くの学生たちにも伝えてこられているそうです。

私が紹介に至った1番の要因は、いずれの方々も現代を代表する研究者である事は言うまでもありませんが、公正で丁寧な内容に加えて、それらを人文学的見地からより広い視野で捉え、そしてその戦争で最も苦しむ人々への深い思いを我がこととして真摯に語られている点でした。例えば、これまで私たちが学んできた縦割りの歴史観(東・西ヨーロッパ、アジア、日本、アメリカ史等)ではなく、世界全体の流れとして、近世から現代を通して繰り返されてきた人権差別、宗教戦争、そして植民地主義の数々の実態こそ、今のパレスチナ問題にもつながっていると言うのです。世界中で起こっている悲惨な出来事は、他人事ではなく、いつでも私たちにも振り掛かってくることであり、残念ながら時として私どもも加害者になり得ることもあると言うことそのような事態を避けるためには、人に矛先を向けるばかりではなく、現代もなお放置されている理不尽な制度、システムが改善されることが急務となるのではないかと示されています。例えば、現在の国連のシステムについても、その一例として挙げられていました。(人文学と言う学問のその一端を、私は初めて学ばせていただくと言う光栄にも恵まれました)

「中学生から知りたいパレスチナのこと」
岡真理、小山哲、藤原聡辰史 ミシマ社
2024年7月23日初版 阿部(読者投稿より)

倉橋を渡ったところ。カフェシュシュの真向いの道を少し上がったところ。大きな民家で、2階がシェアハウス。1階がイベントが出来るスペースになっています。今回は、八王子に住んでいる手作り作家さんたちが集まって企画したイベントでした。たくさんの手作り品と共にワークショップやコーヒーやクッキーの移動販売車が来ていました。先日開店した「あんこ屋 suzu」、みどり幼稚園の調理師さんが作った米粉クッキー、上野原でケーキやパンを作ってマリポーザ(喫茶店)に提供している方等多彩な方が集まってとても賑やかでした。

ワークショップではこけし絵付け、呼び継ぎでつくる帯留めやブローチ、くるみの樹皮で作るペンダント等楽しそうなイベントも目白押しでした。どれも素敵な作品で、作家さんの思いがこもっていました。ここ「縁側」ではこれからも落語や音楽会など楽しいイベントを発信していきたいと話していました。何より地域に開き皆さんの居心地のいい場所「縁側」としてたくさんの人と人のご縁を紡いでいきたいとのことでした。若い方が中心となって運営していてとても頼もしく感じました。



粕谷和夫の観察日記



10月10日佐渡島からの帰りの途中、新潟の福島潟に立ち寄りしました。福島潟はたくさんの鳥たちの繁殖地、越冬地として利用されている湿地です。冬鳥のコハクチョウ、マガン、コガモが北の国から到着していました。ここはオニバスの北限地でもあり、**オニバスの隣に可憐な菱(ヒシ)の花**が咲いていました。ヒシの果実は菱形で両端に逆向きの2本の鋭い刺があり、茹でて食べると栗や芋のような食感があります。

地域の 縁側になりたい



10月中旬、秋晴れの日「縁側みたいに落ち着く場所で、見て、食べて、着飾って」というイベントがありました。場所は高尾町1916-15 チャパティシェアハウス。国道20号線、高尾山口駅に向かって門



八王子市川上の田んぼを仲間3人でやっている稲の不耕起栽培、10月12日に稲刈りをしました。乾燥中の稲束の乾燥が進んでいるところは地元のNPO団体のもので、私たちは奥の緑色の稲束です。わずかですが、何とか収穫できました。下の写真は田んぼの一角、花の終わったヒガンバナで、羽を休めるノシメトンボです。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。